

令和2年12月14日

意見発表

鈴木委員

私から何点か要望したいと思います。

まず国際文化観光局では、委員会の中でもお尋ねしているので、手短にお話ししますが、南紀白浜空港のことを取り上げ、3密回避システムをしっかりとしたほうが良いということで、二酸化炭素の濃度の測定が一番いいのではないかとお話しした。これについては、横浜スタジアムでも実証が進んでいるので、所管の現地施設において導入してはどうかということ、もう一度考えてもらいたい。

観光かながわNOWについて、一つ目は、要望申し上げましたが、パソコンから見るといろいろな情報が載っているが、もう一度しっかりと整理したほうがいいのではないかと。特にAPIと連携した検索ページがあるのに、そのリードの存在に気がつかないといった問題もあると思うので、より分かりやすいページの取組をお願いしたい。

二つ目には、APIとの連携で、民間事業者が運営するグルメサイトや、着地型旅行商品販売サイトと連携をして、データを分析すると出ているが、これについては、しっかりと対応していただいているということで評価します。

その中で、もう一度またこのデータを分析して、それをどのように支援につなげていくのかということ、分かりやすく、議会にしっかりと報告を願いたいと思います。

三つ目ですが、観光行政に求められているのは何かということ、私もお話し申し上げた。まず、かながわ再発見と神奈川発見の定義と今後の取組をしっかりと明確にしたほうがいいのではないかと。多くのデータを掌握する県として、今後、各種のDM運営や観光協会と手を組んで、メディアや観光業界からの情報とは違った観点からの両発見をお願いしたい。発見情報により、県民と民間業者への観光意識に新たなインパクトを与えるような仕組みをぜひとも構築をしていただきたい。

四つ目ですが、地元かながわ再発見推進事業のアンケートを見させていただきました。どのような観光をしましたか、という中では、神社仏閣や温泉などが出てきました。併せて、ナイトエコノミーについても出てきた。こういうことについて、しっかりとしたページの中で特集を組むなど、こういうデータに基づく観光施策、またよいウェブサイトにしていただくことをお願いします。

あわせて、データ分析について、私もお願いしましたが、入込観光客数が日本の中で定着して観光庁からも出ているわけですが、これだけではとても、民間の方々に対するデータにはならない。より詳細なデータの取り方への改善とその得られた詳細データの分析をしっかりと行って、もう一度、データに基づく観光施策をしていただくようお願いをします。

もう一つスポーツ局ですが、私も本会議の一般質問でお願い申し上げました

が、新しい生活様式における見る、支えるのスポーツの推進に関して、インターネットを活用して支援していただけるということで、その窓口をしっかりと県立スポーツセンターの中でつくるという答弁だったのですが、これをしっかりとメディアを使ったり、県のページなどを使ったりしながら、県民にしっかりと、周知徹底をしていただきたいと思います。

以上、公明党神奈川県議会議員団として、今回、付託された議案について賛成をします。